

【第4回】外国人が定着する職場づくり

外国人労働者の雇用が進む中で、「採用しても定着しない」「すぐに辞めてしまう」といった課題を抱える事業主も少なくありません。人手不足の解消だけでなく、長く働いてもらうための環境づくりが重要になっています。ここでは、外国人が安心して働き続けるための職場づくりや、定着につながる取り組みについて分かりやすくまとめました。安定した雇用と職場環境の改善に向けてご活用ください。

長く働いてもらうための環境整備と支援のポイント

Q1

外国人が定着しない原因は何ですか？

A1

言語の壁や人間関係、仕事内容のミスマッチなどが主な原因となります。採用後のフォローが不十分な場合も離職につながるため、継続的な対応が重要です。

Q2

定着率を上げるにはどうすればいいですか？

A2

定期的な面談や相談しやすい環境を整えることが重要です。日頃からコミュニケーションを取り、小さな不安の段階で対応することが効果的です。

Q3

外国人への教育はどのように行えばいいですか？

A3

やさしい日本語や具体的な説明を用い、理解しやすい形で指導することが重要です。繰り返し説明し、理解度を確認しながら進めることが効果的です。

Q4

モチベーションを維持するには？

A4

努力や成果をしっかり評価し、本人に伝えることが重要です。また、成長の機会を提供することで意欲の向上につながります。



外国にルーツがある人々への
支援活動応援助成
社会課題テーマ助成

Q5

外国人が孤立しないための工夫は？

A5

日常的な声かけやチームでの関わりを増やすことで、孤立を防ぐことができます。職場全体で受け入れる姿勢が重要です。

Q6

キャリア支援は必要ですか？

A6

将来の見通しが持てることで、安心して働き続けることができます。スキルアップの機会を提供することは定着にもつながります。

Q7

生活面のサポートはどこまで必要ですか？

A7

すべてを支援する必要はありませんが、最低限の情報提供や相談対応を行うことで安心感につながります。特に初期段階の支援が重要です。

Q8

評価やフィードバックのポイントは？

A8

具体的な内容で分かりやすく伝えることが重要です。曖昧な表現ではなく、何が良くて何を改善すべきかを明確にする必要があります。

Q9

長く働いてもらうために大切なことは？

A9

信頼関係の構築と働きやすい環境づくりが重要です。日々のコミュニケーションと継続的な改善が定着につながります。

外国人が定着する職場づくりは、一度の取り組みで完結するものではなく、日々の積み重ねが重要です。
継続的な改善を意識しながら、より良い職場環境づくりを進めていきましょう。